

平成30年6月24日

「(公社)全日本トラック協会青年部会 関東ブロック大会」開催

関東トラック協会青年部会（結城賢進会長）は、6月24日（日）、川越プリンスホテル（埼玉県川越市）で「第30回（公社）全日本トラック協会青年部会・関東ブロック大会」を開催した。

大会は「変革への挑戦～物流人としての誇りを胸に～」をスローガンに、関東ブロック各青年組織に所属する会員など225名が出席した。

研修会の部では、関東トラック協会青年部会 田口副会長（埼玉）による開会宣言の後、結城会長からの主催者挨拶、国土交通省関東運輸局 森高龍平 自動車交通部長、全ト協 藤原利雄 常務理事からの来賓挨拶の後、関東トラック協会青年部会にて集めた募金による（公財）交通遺児等育成基金への寄付金の贈呈式が行われた。

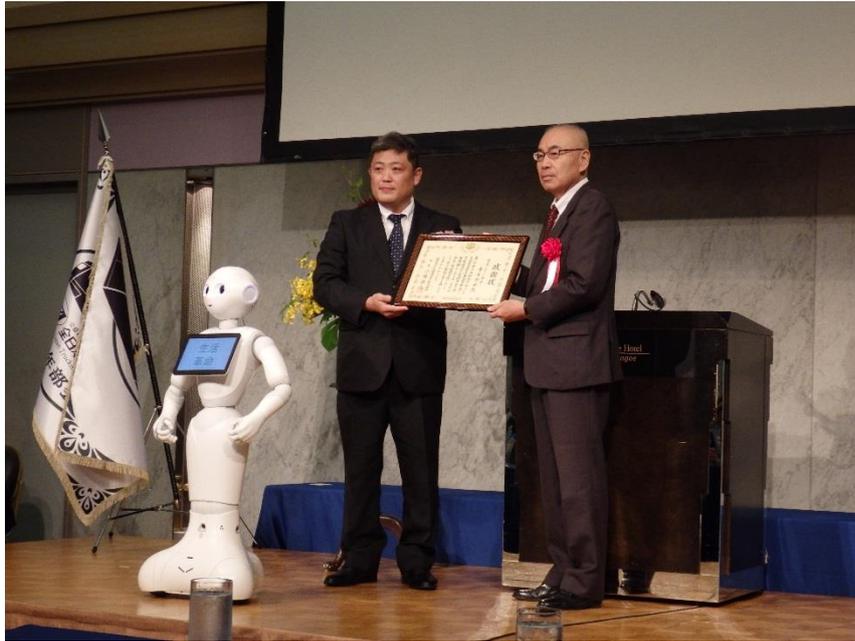
引き続き、「AI・IoTが物流をどう変えるか」をテーマに、始めに株式会社デンソー 稲葉一郎氏が基調講演を行い、稲葉氏は人工知能や自動運転の物流業界に及ぼす影響について説明した。その後、稲葉氏、宮沢祐光氏（(株)生活革命）、石井秀之氏（茨城県ト協）、浅見禄郎氏（埼玉県ト協）によるディスカッションを行われ、人材不足の現状では、ITを活用し生産性の向上を図ることが不可欠であるとの認識のもと活発に意見交換が行われた。

続いて、関東トラック協会青年部会 井上和彦研修委員長が3つの大会宣言を読み上げ、満場一致で採択された。最後に今年度より新たに作成した青年部会大会旗が結城会長から次ブロック大会開催地である北海道トラック協会青年部連絡協議会 吉谷隆昭会長に伝達され、研修会を終了した。

研修会後の交流会では、埼玉県ト協 鳥居伸雄会長が挨拶を行い、参加者全員で交流を深めた。



主催者を代表して挨拶する結城会長



(公財) 交通遺児等育成基金へ寄付金の贈呈を行うとともに
同財団から感謝状を受領



(株)デンソー 稲葉一郎氏による基調講演



「AI・IoTが物流をどう変えるか」をテーマに行われたディスカッション



関東トラック協会青年部会研修委員長 井上和彦 氏による大会宣言読み上げ



結城会長から北海道トラック協会青年部連絡協議会 吉谷会長へ
大会旗を伝達



関東ブロックの青年経営者ら225名が参加

以上